

平成31年度京都府立峰山高等学校学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○ 京都府北部の中核校として、伝統を継承しながら高い理想を求め続け、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>○ 教育スローガン（校是）、教育方針、教育目標及び求める生徒像の具現化のため、全教職員が一体となって取り組む。</p> <p>○ 全教育活動を通して、生徒と教職員が共に成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動、英語の4技能育成について取組を進めることができた。</li> <li>・「科学の教室」と今年度からの「人文科学の教室」は、充実した内容で実施することができ多くの生徒の知的好奇心を刺激する機会となった。</li> <li>・遅刻者数、自主学習時間、授業満足度のいずれも目標値を達成した。</li> <li>・毎朝の教職員による校門指導、校内での普段からの声かけ、生徒会を中心とした各種取組等を通して、全体に規律ある学校生活が維持できた。</li> <li>・当初からの就職希望者の内定率は100%を達成した。</li> <li>・校内への携帯電話の持ち込みに関する指導は、混乱することなく進めることができた。</li> <li>・国公立四大へは推薦・AO入試9名を含め、延べ32名が合格した。</li> <li>・生徒による清掃点検等の取組を通して、美化意識の向上が見られた。</li> <li>・積極的なスクールカウンセラーの活用と情報共有により支援が必要な生徒等への対応が進んだ。</li> <li>・図書に親しむ活動や読書の時間等、利用者が増える工夫がされている。</li> <li>・峰高だより、ホームページ等、中学生向けのインフォメーション等により、家庭・地域に加えて中学生向けの広報活動を行った。</li> <li>・各種行事に多くの保護者の参加があり、学校への関心の高さが窺われた。</li> <li>・産業工学科ではインターンシップやデュアルシステムの効果もあり、地元企業との連携を推進することができ、地元企業への就職者が増加した。</li> <li>・近隣の小学校へのプログラミングの出前授業が高い評価を受け、特色ある専門学科づくりを進展させた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対象学校評価アンケートにおいて、「積極的なボランティア活動」「広報活動が充実」の評価が低下しており、学校の取組を積極的に保護者や地域の方に伝える体制の整備</li> <li>・重点目標及び具体的方策の焦点化と目標値の検討</li> <li>・特色化事業の周知方法の工夫と多様な人材の活用</li> <li>・新しい学力観に即した探究的な学習の企画・運営と教育環境の整備</li> <li>・学力中間層生徒の学力向上に向けた具体的方策</li> <li>・主体的に学ぶ姿勢を育てるための授業改善に向けた組織的取組</li> <li>・校内外の規範意識の更なる向上</li> <li>・部活動の加入率と定着率の向上及び学習との両立に向けた環境整備</li> <li>・日常指導における自尊感情の涵養と美化意識の更なる向上</li> <li>・ICT機器を効果的に活用した教育</li> <li>・タイムリーな情報発信に向けた体制整備と家庭・地域との更なる連携</li> <li>・アカデミック・インターンシップ（大学進学希望者向けのインターンシップ）の充実</li> <li>・新学科教育内容の充実と地元企業・諸団体との連携強化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 希望進路の実現につながる質の高い学力の定着と課外活動との両立</li> <li>2 地域との連携によるキャリア教育の充実と郷土愛の醸成</li> <li>3 高い志と柔軟な国際感覚を持ち社会に貢献できる人材の育成</li> </ol>

※評価は4段階とし、A～Dの記号で表記する。

A：十分達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
府立高校特色 化事業「グロ ーバルネット ワーク京都」	アカデミックミネ・プロジェクトによる学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種コンテストへの参加や検定受検、「科学の教室」「人文科学の教室」への参加、高大連携事業への参加を促す。</li> <li>【コンテスト参加、検定受検人数 延べ800名以上】</li> <li>【「科学の教室」「人文科学の教室」参加人数 延べ300名以上】</li> <li>【高大連携事業取り組み件数10件以上】</li> </ul>		
	コミュニケーション・プロジェクトによるコミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生や企業人、留学生との交流をする</li> </ul>		
	コミュニティ・プロジェクトによる社会貢献意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティミネ」と題し、生徒が地域で学ぶ機会を積極的に設け、参加を促す。【80件以上】</li> <li>・探究活動を通じて地域活動を行う</li> <li>【地域活動参加発信活動 毎学期1回以上】</li> </ul>		
学習指導	主体的学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務部・学年部・生徒指導部等が連携し、保護者の協力を得て、始業5分前登校を徹底させる。</li> <li>【遅刻防止週間遅刻者数：1日平均3人以下】</li> <li>・各教科・学年等と連携して、計画性のある自主学習を推進する。</li> <li>【自主学習時間：1日平均2時間以上】</li> </ul>		
	教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学力把握とICT機器を活用した授業手法の研究</li> <li>【自主学習時間と成績等との関連性の分析】</li> <li>【ICT機器の環境整備と授業手法の研究・公開】</li> </ul>		
	総合的な学習の時間における探究的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施初年度の学習取り組み内容を計画・立案し、円滑に進める。</li> <li>・探究的な活動についての教職員研修会を設ける。【年間1回以上】</li> <li>・探究的な活動に関わる公開授業を実施する。【年間3回以上】</li> <li>・持続的に探究活動に取り組む生徒を育てる。</li> <li>【2年生3学期授業アンケートにおいて 探究活動は充実していた 75%以上】</li> </ul>		
生徒指導	規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外外での規範意識の向上に努める。</li> <li>【携帯電話に関する指導 50名以内】</li> <li>【特別指導件数0件】</li> <li>・学年部をはじめ、関係分掌との連携を密にし、いじめを含む問題事象の未然防止に努める。</li> <li>【生徒指導部だより 年間15号以上発行】</li> <li>【学年会での情報交換 年間8回以上】</li> </ul>		

	特別活動の活発化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の加入率と定着率を向上させるとともに、学習と部活動の両立ができる環境を作る。 【新入生部活動加入率 80%以上】 【部活動定着率93%以上】 【19時30分完全下校の徹底】</li> <li>・生徒会主催の活動を活発化させる。 【学校行事以外の生徒会主催の取組 5つ以上】</li> <li>・ボランティア活動の推進 【前年度参加人数の20%増】</li> </ul>			
進路指導	希望進路の実現	教務部・学年部・各教科等との連携を強化し、生徒個々の学力・進路希望の実態に即した組織的な指導を行う。 【国立大学合格者 延べ40名以上】 【就職内定率 100%】 【進路検討会 年間 5回以上】 【進路担任面談 年間 3回以上】			
	キャリア教育の充実	3年間を見通した系統的かつ体験的・実地的な活動を通して、将来を展望した主体的な行動を促す。 【進路ガイダンス・講演会 6回以上】 【進路体験活動参加 延べ100名以上】			
人権教育	生徒および教職員の人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が相互に人権を尊重する意識を涵養する。</li> <li>・教職員の人権教育を推進する意識の向上を促す。</li> <li>・すべての教育活動を通じて生徒の自尊感情を高め、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。 【生徒の実態に合ったホームルーム人権学習を計画・実施し、適切な事後指導を行う（各学年3回）。】 【&lt;生徒アンケート&gt;「生命や人権を尊重する指導が適切」 肯定率90%】</li> </ul>			
家庭・地域連携	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや「峰高インフォメーション」によって、生徒の活動や学校の取組を、幅広くタイムリーに発信する。 【&lt;保護者アンケート&gt;「広報活動が充実」肯定率80%】</li> </ul>			
	地域・保護者・PTAとの連携推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三者面談、PTA総会、PTA事業、学校祭等PTA共催・後援行事への積極的な参加を促す。</li> <li>・ツイッターを活用し、学校の様子をタイムリーに保護者に伝える。 【&lt;保護者アンケート&gt;「家庭と担任や学校との連携」 肯定率75%以上】 【&lt;保護者・生徒アンケート&gt;「学校の情報は家庭に適切に伝えられている」 肯定率90%】</li> </ul>			

図書・情報活動	読書活動の充実、図書館利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や図書委員などが自身の読書体験や本の紹介を発信する機会を設け、生徒の読書活動を促進する。</li> <li>・図書館を活用した学習活動・特別活動の計画を促進し、活動をサポートする。 【貸出数 生徒年間5冊/人以上】 【学校図書館の関わる各種コンクール・コンテストへの積極的な参加 各学年10件】</li> </ul>			
	校内LANの適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内LANの適切な管理・運用と研修により、情報を安全かつ効果的に活用し教育効果を高める。 【校内LANにおける重大事象の発生が0件】</li> </ul>			
健康・安全指導	基本的・自立的な生活習慣の確立及び自己管理能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保健委員の学期毎の清掃点検等 【〈生徒アンケート〉「美化、清掃が行き届いた教育環境」肯定率85%以上】</li> <li>・健康課題のある生徒の相談活動の充実 【学期に1回面談】</li> </ul>			
	メンタルヘルスの問題を早期に支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCを活用し継続した教育相談に取り組む 【定例教育相談会議 月1回】</li> <li>・心身の不調につながる生徒に対し、継続した健康相談に取り組む【保健部会内 月2回】</li> </ul>			
特色ある専門学科	地域連携のさらなる拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ、企業見学等により職業指導を充実させ、地域に根差した人材の育成に繋げる。 【2年生全員参加】【事前・事後指導5時間以上】 【地元就職5名以上】</li> <li>・京都産業21、ポリテクカレッジ京都等近隣の職業訓練機関での実習を充実させる。 【40時間以上】</li> <li>・出前授業や校外イベント等で学科の活動を展示発表する。 【5件以上】</li> </ul>			

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--